

世界とつながる静岡のお茶ツーリズム2024

『お茶ツーリズム』とは、「お茶葉の背景を見せること」。

日本有数の茶産地・静岡市には、特有の風景や生産・加工・販売などの産業、お茶に関する歴史・伝統・慣習、茶どころならではの消費のあり方など、静岡人の生活と結びついた多様なお茶の現場があります。

これらをできるだけ、現地でありのまま見せることがお茶葉の付加価値付けとなり、静岡のお茶や静岡市のファンづくりにつながる期待を持っています。

目的

いつでもだれでも「お茶のまち静岡市」ならではのお茶体験ができるお茶ツーリズムの仕組みづくり

課題

- 需要が高まる新茶時期は農家の繁忙期。観光客の受け入れは困難
- 繁忙期は特に外国語での問い合わせや申し込みへの対応が困難

事業内容 ※「いつでもだれでも受入」実現のための方策

1. 茶農家に代わってゲストをもてなすお茶ツーリズムガイドの育成

お茶についての知識があり、受入農家が説明したい自園茶やお茶づくりのことを理解した、茶農家が代わりに任せられるガイドの育成を行います。中でもインバウンド需要に対応する外国語でのガイド育成が急務です。

令和7年1～2月にガイド勉強会3回と茶農家体験プログラムのモニタリング・研修2～4回程度(調整)

2. 受入茶農家の顕在化とプログラムの改良

繁忙期にもツーリズムガイドとの連携で来訪客を受け入れ、通年でお茶体験プログラムを提供できる(したい)茶農家を募り、ガイドと連携しやすいよう、ガイドによるモニタリングも行いながら既存プログラムの見直しや新プログラムの造成を行います。

令和7年1～2月に実地研修(市内・県外)2回、
プログラムブラッシュアップ研修4回程度

3. ガイドサポート資料の作成

訪問先の茶農家やお茶の個性の理解を促進するために、ガイドの説明を補足する資料の作成・設置、お茶の基礎的情報を記したパンフレット(日・英)の作成・配架を行います。

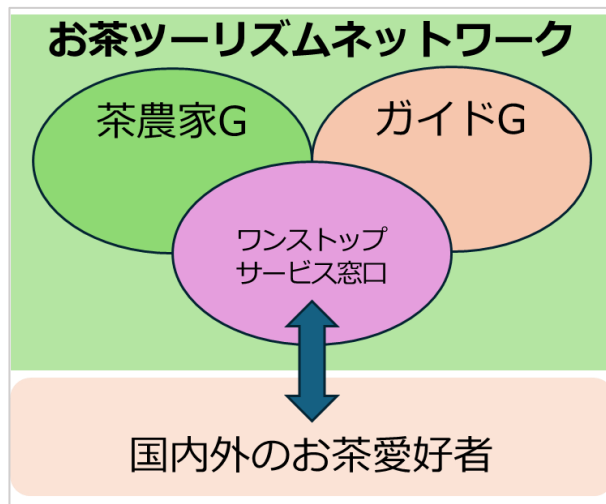


仕組みのイメージ ※お茶ツーリズムネットワーク形成で収益アップ

体験プログラムを提供する茶農家グループ、お茶ツーリズムガイドグループ、プログラムを販売するためのワンストップサービス機能を担う組織が一体となって運用する仕組みです。

<お茶ツーリズムネットワークの機能>

- ＊ワンストップサービス窓口機能で体験希望者の利便性向上
- ＊茶農家の均質的な体験プログラム造成と適正な料金設定
- ＊汎用性のあるお茶ツーリズムガイドの育成
- ＊ネットワーク間の情報共有
- ＊ボリューム感のある情報発信



事業スケジュール

事業項目／年月	2024 年 12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
お茶ツーリズムガイドの育成	ガイド募集	勉強会1 勉強会2	茶農家研修 勉強会3 茶農家研修	事業報告会
受入農家の顕在化とプログラム改良	受入茶農家募集 茶農家調査	実地研修 プログラム改良 プログラム改良	実地研修 モニタリング モニタリング	
ガイドサポート資料の作成	企画構成・取材 (パンフ・マニュアル)	原稿作成	翻訳・デザイン 印刷製本	

「世界が憧れるお茶のまち静岡市」をめざして！



お茶ツーリズムの確立と お茶の消費拡大は車の両輪！

魅力ある観光コンテンツ「お茶ツーリズム」がいつでも体験できる「お茶のまち静岡市」に、世界中からお茶 lover が訪れる。そんな静岡市をめざしています

「世界とつながる静岡のお茶ツーリズム」事業

実施主体：株式会社そふと研究室×静岡市観光政策課

問合せ先：株式会社そふと研究室 静岡市葵区宮ヶ崎町 3

☎ 054-272-0525 ✉ info@soft-labo.net